

景観形成チェックリスト（一般区域） 1 / 2

対象事項		景観形成基準	チェック欄
建築物	配 置	・河川，道路，公園等優れた地域の特性を活用するよう努めること。	
		・周辺建築物の壁面の位置を考慮し，調和を図るよう努めること。	
	意 匠	・建築物全体が統一感のある意匠となるよう努めること。	
		・道路に面する外壁だけでなく，側面についても配慮すること。	
	高 さ	・できるだけ突出感を与えないよう努めるとともに，スカイライン（建築物と空との境界線）の連続性に配慮すること。	
	色 彩	・周辺の環境や建築物との調和を図り，圧迫感や突出感を与えないようにするため，外観の基調色は，マンセル値によるものとし，彩度6以下とすること。 また，明度4以上となるよう努めること。さらに，色相がR，Y R，Yの場合は彩度4以下となるよう，色相がGY，G，BG，B，PB，P，RPの場合は彩度2以下となるよう努めること。	
		・色数は，できるだけ少なくするとともに，複数の色を使用する場合は，色の三属性（色相：色あい，明度：明るさ，彩度：あざやかさ）の対比が強くないよう努めること。	
		・アクセントカラーを使用する場合は，小面積とし，基調色との調和に努めること。	
	仕上げ材	・汚れに耐え，損傷しにくく，色があせない等の材料の使用に努めること。	
		・面積の大きい屋根や外壁は，光沢の強い材料の使用を避けるように努めること。	
	建築物上部	・建築物本体と一体的なデザインとし，建築物上部の形態を整えるよう努めること。	
		・屋根の形態は，まちなみとの調和に配慮すること。	
	設 備	・道路からできるだけ見えにくい位置に設置するよう努めること。	
		・屋上設備は，壁面を立ち上げ，又はルーバー等により適切な覆いで隠すよう努めること。	
		・壁面設備は，壁面と同一の色調とする等建築物全体との調和に努めること。	
		・排気塔，換気フード等は，十分に意匠を検討し，目立たないよう配慮をすること。	
	屋外階段 バルコニー等	・建築物全体としてまとまりのある位置及び意匠とするよう努めること。	
		・建築物が好ましい表情を持つような形状及び色彩となるよう配慮すること。	
	附属建築物等	・まちなみの統一感を乱さない配置に努めること。	
		・建築物本体と調和するよう努めること。	
		・緑化等で目立たないよう工夫すること。	

注 各項目について配慮や工夫をした場合は「○」を，届出行為に項目が該当しない場合は「－」をチェック欄に記入してください。

景観形成チェックリスト (一般区域) 2 / 2

対象事項		景観形成基準	チェック欄
建築物	外構及び植栽	・道路との境界部は、歩行者空間とのつながりに配慮し、建築物の前面にゆとりとのおいのある空間の確保に努めること。	
		・塀、柵等は、デザインを工夫するとともに、その色彩は、周囲に溶け込むよう努めること。	
		・敷地境界部は、生垣による緑化の推進に努めること。	
		・地域に合った樹木等により四季の演出を考慮した植栽に努めること。	
		・できるだけ高木性の樹木を多く植えるよう努めること。	
		・既存の樹木を適切に保全するよう努めること。	
		・駐車場は、植栽等により、修景に努めること。	
		・大規模な駐車場は、緑化舗装や高木性の樹木等により、修景に努めること。	
		・道路から直接駐車する方式を避けるよう努めること。	
		・ごみ置場は、収集口が道路側に直接面しないよう努めるとともに、建築物本体との統一性を持たせ、植栽による修景にも配慮すること。	
工作物	意 匠	・周囲に与える突出感や違和感を軽減するよう努めること。	
		・通信用鉄塔等は、できるだけ高さを抑え、形状を細くするよう努めること。	
	色 彩	・周辺景観との調和に配慮し、基調色は、けばけばしくならないよう努めること。	
		・通信用鉄塔等は、周辺環境に溶け込むよう努めること。	
	植 栽	・地域に合った樹木等により四季の演出を考慮した植栽に努めること。	
		・できるだけ高木性の樹木を多く植えるよう努めること。	
土地の形質の変更	・のり面緑化や擁壁の前部緑化等により、周辺に与える圧迫感や違和感を軽減するよう努めること。		
	・周囲と調和できるような形態及び色彩となるよう努めること。		
景観形成面で特に配慮した事項			

注 各項目について配慮や工夫をした場合は「○」を、届出行為に項目が該当しない場合は「－」をチェック欄に記入してください。